



さわやかな秋の
風に吹かれて揺れ
る稲穂。入野の田
んぼで育てられた
「はるみ」は、JA
全農営農・技術セ
ンター(東八幡4-18-1)で生まれた品種
です。平塚から新しい品種を開発し、広
めていく取り組みを紹介します。

広報 2016 11 月
No.1066 第1金曜日号

ひらつか

あつぱれ 新米

大地に育つ はるみ

県内一の米の生産量を誇る平塚。市内では新しい品種の米「はるみ」の生産が、広がってきています。品種の完成までには、長年の努力が隠されています。

問 農水産課 ☎ 35―8102

技術を全国に発信

「全国の農協を技術面で支える拠点が、平塚にある営農・技術センターなんです」と話す粉川聡センター長。昭和37年に設立された同センターは当初、農家へ供給する資材や機材の品質管理と農協職員の人材育成が主な目的でした。昭和53年には商品開発業務、62年には種苗開発業務を開始して、品種開発へ取り組んでいます（下表）。現在は農作物の残留農薬の検査をする研究室など、1課7研究室で活動しています。

平塚に同センターが設立されたのは、東京にある本所と



「重要な役割のあるセンターです」と話す粉川センター長

連携がとりやすく、かつ農業技術の実践ができる場所だったからでは」と粉川センター長は話します。同センターが立っている場所には以前、県原種場がありました。麦や稲などの原種を作っていた場所、広い敷地がそのまま利用できたのも理由の一つです。また、設立当初の大きな目的であった人材育成のために、全国から人が集まる場所として、交通の便が良かったことも挙げられます。

「われわれの業務は、生産者と消費者を技術で結びつけることです」と粉川センター長は力を込めます。「研究開発・検査分析・人材育成が業務の三つの柱です」と続けます。新品種の開発や、低コストで農産物を生産する技術の開発と提案。肥料や農薬、段ボールやフィルムなど生産者へ供給する資材が使用に耐えられるかの検査。安心で安全な食品を消費者へ届けるため

農業の大切さを伝える

年間60回以上の講習を開き、職員の育成をする同センターでは、市内の小学校と連携した食農教育も、20年ほど前から続けています。同セン

の農産物の分析。全国の農協職員を対象に技術講習会などを通じた、人づくりも進めています。

試行錯誤の品種開発

「私が全農で働き始めた昭和63年ごろは、海外から新しい品種の米が日本に入ってくる可能性が高くなっていた時期でした」と農産物商品開発室長の森永靖武さんは振り返ります。ハイブリッドライスと呼ばれる、いくつかの品種を交配した新しい品種が日本に輸入され始めようとしていたのです。主食の米を海外に頼ることの危機感から「国内で海外に負けない米を作り、広めることが目標でした」と言います。ちょうど、同室の前身となる部署が設立された

ターへの見学を受け入れ、農業への関心を高めるための活動をしています。米を苗から育てる体験講座を開くことも。「子どものときから土に触れて、農業に親しみを持ってもらいたい」と粉川センター長は話します。「自分で農作物を育てることで、農業の大切さを学び、大人になったときに日本の農業を応援してほしい」と力強く話します。

いですね」と笑顔を見せます。全農に勤務してから20年近く、平塚で品種開発に携わってきた粉川センター長。「このセンターが見据えるのは全国の農業生産ですが、新品種を開発するときには、地元の農業に貢献したいという思いも大事にしています。『平塚発』という気持ちを持っています」と力強く話します。



「育てやすくておいしい米を作れたかった」と森永室長



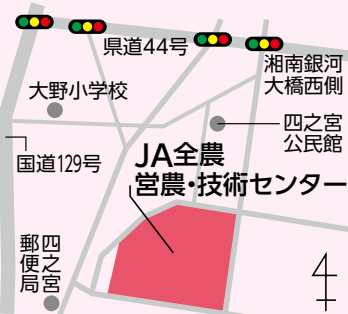
品種開発の交配用の稲は温室で管理されています

JA全農 営農・技術センター



生産者が求める「省力・低コストの農業生産」と消費者の求める「安心・安全でおいしい農畜産物」の両方に応える技術を発信するセンターです。

敷地面積 2万7440平方メートル。敷地内には機械や燃料の実習棟のほかに、水田や畑、温室・ビニールハウスもあります。畑や温室などでは、ネギや枝豆などの品種開発や栽培方法を研究しています（写真）。敷地外にも、場外水田として、城島に



1万5196平方メートルの水田があります。

従業員数 89人（5月1日現在）。また研究の補助を行う全農ビジネスサポートの職員も77人います。

営農技術センター略年表

昭和37（1962）年 農業技術センター設立。肥料、農薬、農業機械、飼料の4研究部門と総務課で発足

昭和53（1978）年 商品開発研究部が発足

昭和62（1987）年 種苗開発研究部が発足

平成2（1990）年 民間初のF1稲品種「若穂の光」他2種を品種登録

平成7（1995）年 コシヒカリとキヌヒカリを交配し、はるみの育成を開始

平成8（1996）年 営農・技術センターに名称を変更

平成19（2007）年 農産物商品開発室が発足

平成22（2010）年 新社屋が完成

平成27（2015）年 はるみが県の奨励品種に決定



(上)80種類以上の稲が育つ試験水田(下)専用の計測器を使い、葉の色を調べます。葉の色から肥料の効果が分かります



育った稲の高さは、職員が物差しで測ります

／中でも、食味が良いこと、つまりおいしさを一番に追及して、はるみの開発は進められました。

歴史は20年前から

はるみの開発が始まったのは、平成7年です。当時から現在まで、県内の主力品種として栽培されているのはキヌヒカリという米です。しかし、キヌヒカリは秋の収穫の時期に雨が続きと、稲穂から芽が出てしまう穂発芽を起こしやすい、そうなるとうも品質も落ちやすいことが弱点でした。この弱点を克服した品種

を作るために、キヌヒカリと穂発芽しにくいコシヒカリを交配して、はるみが作られました。

「はるみが品種として確立するまでに、19年かかりました」と話す森永室長。交配した稲は、試験用の水田で育てます。同時に何種類もの稲を育てている試験水田では、機械による作業ができず、田植えから稲刈りまで、職員の手作業です。1回の交配で育てる稲は3000〜4000株。全ての稲の穂や葉の形、稲穂の数などを調べて優れた株を選び、さらに次の年に増やし

ていきます。

絞り込みの作業は、7年間続きました。8年目以降は、キヌヒカリやコシヒカリとの比較をしました。味や香り、艶などの優劣を検査しながら、理想の品種を目指していきましました。「キヌヒカリを超えることが1番の目標だったので、常に意識していました」と森永室長。「味を確かめるために、小さな釜を使って、数えきれないほど試食しました」と思い返します。

完成が新しい始まり

「品種が完成した後も、苦労が多いんです」と話す森永室長。新しい品種として安定して育つかどうか、試験水田などで調査します。品種として適正な成長をしているのかを、稲の背の高さや葉の色を調べて確認します。

「どうやって普及させるのかも、課題でした」。品種が完成しても、生産者に受け入れられなければ、日の目を見ないままになってしまいます。県内のスーパーで試験販

売をしてアンケートを取り、評判を生産者へ伝えました。

平成21年に品種登録出願し、26年に登録されました。登録時に付けた名前が『はるみ』です。「農産物商品開発室が中心となって、全農内で公募して決めました」と経緯を説明する森永室長。他の米の名前にはなく、平塚の晴れ渡る明るい海をイメージできる名前として採用しました。27年に、はるみは神奈川県奨励品種に決定しました。県内で普及すべき優良な品種として認められたのです。民間企業が単独で作った品種として

は、全国で初めての奨励品種です。

品種の開発には、長い年数がかかります。「最初から最後まで、見届ける研究者はなかなかいません」と森永室長。「関わってきた者全てが、強い思いを持っています。その結果完成した米なので、多くの人に食べてもらいたいです。はるみは、平塚で生まれた品種なので、育てるには平塚が最適なんです。これから、市内の水田に、はるみが広がっていくと思います。市民の皆さんに温かく受け入れてほしいですね」と期待を込めます。

JA湘南 もっとはるみを届けたい

市内で収穫された米は、JA湘南で集荷し、精米して販売します。JA湘南経済センター(片岡657)で9月23日、今年初めての米の集荷がありました。この日集まったはるみは30kg入りの袋で40袋。袋に器具を挿し、米を抜き取り、検査をします。検査の結果、1袋を除いて、全て最も品質の良い1等級になりました。



「ぜひ食べてみてほしいです」と小林さん

担当者の小林真由美さんは、「今年から3年かけて順次、キヌヒカリから、はるみへの切り替えを進めます」と話します。はるみの種の注文は

JA湘南で取りまとめています。昨年に比べ、今年の注文は約3倍と栽培されるはるみの量は着実に増えています。

しかし、はるみへの切り替えは、「まだまだ、これからです」と小林さんは話します。農家にとっては年に1回の収穫。長年育ててきたキヌヒカリから、新しい品種に変えるのには抵抗を感じる農家が多いのが現状です。さらに、消費者の知名度が低いのも悩みです。小林さんは「はるみは、甘みが強く、冷めてもおいしい品種です。違いを知ってもらうには、食べてもらうのが1番。食べてもらえれば、おいしさが分かります」と力を込めます。「生産者には育てやすく、消費者にはおいしいと、両者にメリットがある品種です。はるみの良さを紹介して、どんどん広めたいですね」。

はるみをご家庭でも

■あさつゆ広場 寺田縄424-1



9月下旬から、はるみの新米が店頭に並んでいます。4.5kg 1,650円(写真)。
営業時間 11〜2月 午前9時〜午後5時(3〜10月は6時まで)。第3水曜日と12月31日〜1月4日は休みです。
☎ あさつゆ広場 ☎59-8304

■JA湘南でてこいまつり2016

はるみの新米を4.5kg 1,650円・2kg 750円で販売します。地場産の野菜の即売や、ポン菓子無料配布、友好都市・岩手県花巻市名産品の販売もします。

11月12日(土)午前9時30分〜午後3時15分、13日(日)午前9時〜午後3時。小雨決行。総合公園平塚のはらっぱ。

☎ JA湘南 ☎58-2500

心を込めて作りました

9月17日、真田の田んぼでは、米農家の市川亀雄さんが、はるみの刈り取りをしました。

「はるみを本格的に育てるのは今年が初めてだけど、いいできだと思うよ」と話す市川さん。去年は試験的にはるみを



コンバインで稲刈りをする市川さん

育てていました。「はるみはおいしい品種って聞いていたので、作ってみようと思ってね」。今年はキヌヒカリと並行して育てていましたが、来年は全面的にはるみに切り替えるつもりだと言います。

「キヌヒカリと育て方はほとんど変わらないね。穂が出る時期や収穫時期が4、5日遅いかな」と市川さんは話します。はるみは、『正葉』と呼ばれる稲穂の横に伸びる葉が、長いと感じたそうです。稲穂が目立ちにくくなるため、スズメが近寄りやすく、「稲穂が食べられることが少ない」と続けます。「育ててみて、初めて分かる発見があって、面白いよ」と笑顔で話します。「平塚で作ったお米だから、地元の人にたくさん食べてもらいたいね」と呼びかけます。

募集

応募方法は
下段

市職員になりませんか

採用は平成29年4月1日。
次の条件を全て満たす方、数
人(選考)。

一般事務(障がい者対象) ①

昭和61年4月2日～平成11年
4月1日生まれ②身体障がい
者手帳などを持っている③自
力で通勤・職務ができる④高
校卒業程度以上の学力がある。
保健師 ①昭和61年4月2日
～平成7年4月1日生まれ②
平成29年3月までに、資格を
取得・登録見込みの方。

詳しい条件や試験日程など
は、お問い合わせください。

職員課 ☎21-8762や
市ウェブなどにある申込書に
写真を貼り、郵送で、平成28
年11月4日(金)～11日(金)
に、同課へ。

普通救命講習会

心肺蘇生法などを学びます。
11月26日(土)午前9時～正
午。旭南公民館(山下109

6-1)。市内在住・在勤の
方30人(先着順)。

電話で、消防救急課 ☎21
-9729へ。

暮らしの講座

テーマは「年末に迷わない
片付け術 家族円満・実家も片
付け整理と収納のコツ」です。
12月2日(金)午前10時～正
午。市民活動センター。市内

在住・在勤・在学の方50人(先
着順)。1歳以上の未就学児
の保育(4人・先着順)もあり
ます。

講座名・必要事項・保育
希望の有無を、電話・メール
で、11月4日(金)から、市民
情報・相談課 ☎20-5775
①jousou@へ。

市公用車の広告

ワンボックス軽自動車30台
の両側面に、縦50センチ×横70センチ
の広告を1枚ずつ、特殊フィ
ルムで貼ります。掲載期間は
平成29年2月1日～30年1月

シャトルバスに広告を
掲載しませんか

平日に5回、巡回します



大神地区と市民病院をつなぐシャトルバス
に広告を掲載する事業者を募集します。

掲載期間は平成29年4月3日～30年3月30日。
広告の作成・貼り付け・撤去費用は市が負担
します。広告の下側60センチには「平塚市シャ
トルバスを応援します!」と掲載します。36
人乗り、14座席の小型バス1台に掲載します。
抽選。

右側面(車道側) 2枠。400センチ×1,200センチ。12万円。

左側面(歩道側) 2枠。400センチ×900センチ。12万円。

後面 1枠。560センチ×1,000センチ。14万4,000円。

募集 広告案と市ウェブなどにある申込書を、
直接、平成28年11月4日(金)～12月2日(金)に、
本館6階の交通政策課 ☎21-9840へ。

市の案にご意見をお寄せください

パブリックコメント手続き制度で
は、まちづくりに関する重要な政策を
策定するときなどに、事前に案を公表
して市民の皆さんから意見を募ります。
案の内容は11月4日(金)～12月5日
(月)に、公民館や市ウェブなどで閲覧
できます。

①(仮称)ひらつか男女共同参画プラン
2017(素案)

男女共同参画社会を実現するため、
固定的な男女の役割分担の意識を改革
するための計画です。市民・事業所・
地域・団体と市が力を合わせて取り組
む内容です。

②市さわやかで清潔なまちづくり条例
の一部改正

快適で清潔な暮らしを実現するた
め、条例の一部を改正して、より充実
した内容を目指します。

募集 意見・必要事項(団体の場合は団
体名と代表者名も)を、郵送・ファクス・
メールまたは直接、12月5日までに、
①は本館7階の人権・男女共同参画課
☎21-9861 FAX 0120-704589 ②は
別館2階の循環型社会推進課 ☎21-8796
FAX 36-2352 ③shigen-j@へ。

市営住宅の入居者

入居予定日は平成29年3月
1日(水)。次の条件を全て満
たす方(抽選)。①20歳以上ま
たは既婚②夫婦や親子主体の

31日です。5台分10万円。広
告の作成・貼り付けなどの費
用は広告主の負担です。申込
件数により、車両の台数を調
整する場合があります。
募集 広告案と、本館4階の資
産経営課 ☎21-8763や市
ウェブにある申込書を、直接、
平成28年11月22日(火)午後5
時までに、同課へ。

みんなのまち情報宅配便

市の職員が市民グループや
地域の団体を対象に、事業や
施策を説明します。公民館や
市ウェブなどにあるパンフ
レットでメニューをご確認く
ださい。メニューにない事業
や、パブリックコメントを募
集している案件を希望する場
合は、ご相談ください。
市民で構成する10人以上の
グループ・各種活動団体。希
望日の午前9時～午後9時の

森の歳末祭

松ぼっくりでミニクリスマ
スツリーや大鍋で豚汁などを
作ります。

12月10日(土)午前9時30分
～午後2時。びわ青少年の家
(土屋2710-1)。市内在
住・在学の小・中学生と保護
者30人(抽選・弟妹の未就学
児も申し込めます)。600円、小
学生は300円、未就学児は100円。
電話で、11月4日(金)～
15日(火)に、びわ青少年の家
☎59-0871へ。月曜日は
休館日です。

ガイドと巡る文化資源

平塚文学散歩のコースで
す。自転車・オートバイでは
同行できません。
11月27日(日)午前9時30分
～午後0時30分。約4・6歳。
荒天中止。平塚駅南口噴水、

友好都市三市合同物産展 秋の味覚市

友好都市の岐阜県高山市・岩手県花巻市・静岡県伊豆市の名産
品や特産品など、ご当地自慢の逸品が勢ぞろいします。

11月10日(木)～13日(日)、午前10時～午後6時(13日は午後5時
まで)。市民プラザ。

文化・交流課 ☎25-2520



郷土色豊かな逸品をご堪能ください

応募方法

募集＝応募方法

(応募が必要です)

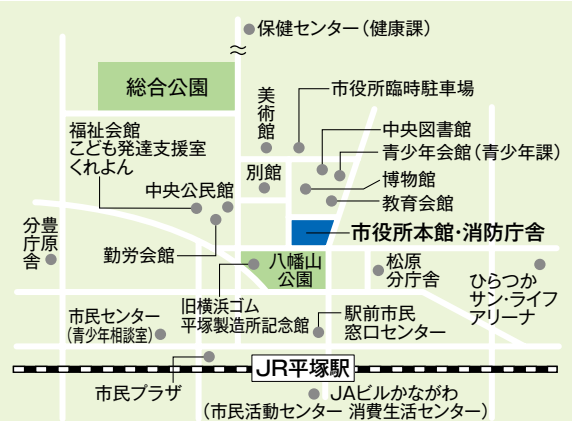
問＝問い合わせ

必要事項とある場合、

郵便番号・住所・氏名
(ふりがな)・電話番号
をご記入ください。

市役所への郵便物は、
〒254-8686平塚市役所
〇〇課で届きます。

募集開始日の記載がない場合、
11月7日(月)午前8時30分から、
受け付けます。
メールの応募の場合 ①以下に
city.hiratsuka.kanagawa.jp
を付けてください。



記入例

往復はがき

住所
氏名
返信

郵送・ファクス・メール

イベント名
郵便番号
住所
全員の氏名
電話番号
その他の事項
返信

ひらつか民俗芸能まつり

市内に古くから伝わる伝統芸能の人形浄瑠璃や囃子太鼓を楽しみませんか。

人形浄瑠璃芝居の部は「寿式二人三番叟」義経千本桜 道行初音の旅(写真)など、囃子太鼓の部は「田村ばやし」などを演じます。

11月20日(日)正午開場。中央公民館。700人(当日先着順)。

☎ 社会教育課 ☎35-8124



華やかな舞台をお楽しみください

木の実でクリスマスリースを作ります。

11月16日(水)、午前10時30分～正午・午後1時30分～3時。旧横浜ゴム平塚製造所記

八幡山の洋館の遊館日

☎ 氏名・電話番号を、電話・ファクス・メールで、市民活動センター ☎21-7517 FAX 22-3701 hirase@mbson-net.ne.jp。

人材を生かせる団体になるために、組織マネジメントの視点から学びます。

11月20日(日)午後2時～4時。市民活動センター。40人(先着順)。

市民活動団体向け 人材育成・活用講座

コース名・全員の必要事項を、はがき・ファクス・メールで、11月20日(日)までに、社会教育課 ☎35-8124 FAX 34-5522 kishakai@へ。

短期労働講座

労働関係法令などの基本的なルールを解説します。

11月22日(火)・25日(金)・29日(火)、12月2日(金)・6日(火)、全5回、午後6時30分～8時30分。市民活動センター。50人(先着順)。

☎ 電話・ファクスで、県ウエブなどにある受講申込書を、かながわ労働センター湘南支所 ☎22-2711 FAX 21-2848へ。

子どもの就職を考えるセミナー

引きこもりの子どもを理解・支援するため、講演会と個別相談会を開きます。

11月29日(火)午後1時30分～4時30分。青少年会館。39歳以下のニート・引きこもりで自立を目指している方の家

念館。各10人(先着順)。グループ。800円。

☎ 電話または直接、旧横浜ゴム平塚製造所記念館 ☎35-7114へ。

中小企業労務管理セミナー

就業規則の見直しのポイントなどを学びます。

12月8日(木)午後1時30分～4時30分。藤沢市民会館(藤沢市鶴沼東8-1)。40人(先着順)。

☎ 電話・ファクスで、県ウエブなどにある受講申込書を、かながわ労働センター湘南支所 ☎22-2711 FAX 21-2848へ。

ひらつかタマ三郎漁港まつり

11月20日(日)。荒天中止。

ひらつかタマ三郎漁港(千石河岸)。各30組60人(先着順)。

①遊漁船釣りセミナー 午前8時～正午。6000円、小学校4年生～中学生は4000円。

族。先着順。

①講演会 20人②個別相談会 6組。

☎ 電話で、平日の午前10時～午後5時に、県西部地域若者サポートステーション ☎0465-32-4115へ。

0円。

②ごろびき網体験とお魚観察会 午前8時～10時。1組5000円。

☎ ①は電話で、庄三郎丸 ☎21-1012・庄治郎丸 ☎21-1312へ②はウエブサイト「旅の発見」で、応募を受け付けます。詳しくは市漁業協同組合 ☎21-0146へ、お問い合わせください。

12月3日(土)にリサイクルプラザで開く「くるりんまつり」のフリーマーケットに出

くるりんまつりフリーマーケットの出店者

お知らせ

年末調整などの説明会

平成28年分の①年末調整の仕方②源泉徴収票と給与支払い報告書の書き方③法定調書の作成と提出について、説明します。

11月10日(木)午後2時～3時50分。中央公民館。午後1時から用紙を配ります。

☎ 市民税課 ☎21-8766

青少年会館の学習室

静かな環境で勉強や読書などをしませんか。

月曜日を除く、午前9時～午後9時。青少年会館。24席。

☎ 青少年課 ☎32-7029

電子申請システム

インターネットで住民票の写し交付申請、手話通訳者派遣申請、要約筆記者派遣申請などが簡単にできます。一部手続きはスマートフォン・携帯電話にも対応しています。申

店しませんか。当日午前5時発表の横浜の降水確率が50%以上の場合は中止です。

市内在住の個人・グループ20店(抽選、世帯またはグループで1店・プロは応募できません)。飲食物・生き物・リサイクルに関係のない手作り品・電気製品は販売できません。500円。

☎ 必要事項・販売する品物・搬入手段(車または自転車)を、往復はがき(世帯・グループで1枚)で、11月11日(金)までに、〒254-0014四之宮7-3-5リサイクルプラザ ☎51-5301へ。

請によつては利用者ID・電子証明書が必要です。詳しくは市ウエブをご覧ください。

☎ 情報政策課 ☎21-8792

ひらつかビジョン

市政の動きやまちの話題を東海大学生がリポートする番組です。11月・12月は「自主防災」をテーマに紹介します。

SCN湘南チャンネル。初

回、11月5日(土)午後7時30分～7時45分。毎週土曜日、午後7時30分～7時45分。毎週日曜日、午後1時45分～2時。YouTubeでも配信します。

☎ 秘書広報課 ☎21-8761

火災予防キャンペーン

11月9日(水)～15日(火)に、秋季全国火災予防運動を実施します。9日午後2時～4時に、ららぽーと湘南平塚(天沼10-1)で、消防職員ら

ららぽーと湘南平塚周辺 愛称が決定しました

提案型ネーミングライツで新たに3カ所の愛称が決定しました。パートナー企業は三井不動産で、年間のネーミングライツ料は各10万円です。愛称期間は10月4日から3年間です。広報紙や市ウエブなどで使います。

宮松町あおぞら公園(宮松町46-4)は「ららぽーとあおぞら公園」、宮松町すこやか公園(宮松町40-4)は「ららぽーとすこやか公園」、幹道59号天沼宮松町線は「ららぽーと湘南平塚通り」(写真)になりました。

☎ 資産経営課 ☎21-8763



が住宅用火災警報器などを紹介します。火災予防啓発グッズなども配ります。

☎ 予防課 ☎21-9728

生ごみの自家処理講習会

堆肥の作り方を学びます。

11月16日(水)午前10時～正午。リサイクルプラザ。

☎ 循環型社会推進課 ☎21-8796

SunSunマルシェ

市内の飲食店の出店や手作り雑貨・アクセサリーの販売など、平塚の魅力が詰まった青空マーケットを開きます。

11月13日(日)午前10時～午後2時。小雨決行。湘南海岸公園(高浜台34-1)。

☎ アルベリアールホーム ☎31-7211

金目エコミュージアム 収穫祭

野菜をたっぷり使った豚汁などを振る舞うほか、太鼓の

演奏や米が当たる抽選会などもあります。

11月6日(日)午前10時～午後2時。金目ふれあい広場(南金目900-3)。当日午前7時発表の横浜の降水確率が50%以上の場合には金目公民館(南金目966)で開きます。

☎ 金目エコミュージアム事務局 ☎58-0101

よいもんキャンペーン

市の名産品や地場品、観光推奨名菓、オリジナルグッズを販売します。

11月7日(月)～9日(水)、午前10時～午後2時。本館1階多目的スペース。

☎ 市観光協会 ☎20-5110

知ってほしい 里親のこと

講演のテーマは「あなたをずっと見守っているよ」です。

11月19日(土)午後1時～4時。二宮町生涯学習センター(二宮町二宮1240-10)。

☎ 心泉学園 ☎71-0077

健康と福祉

応募方法は
4面

市民健康デイ2016

骨密度や体脂肪などを測って、体調管理に役立てませんか。地場産の野菜の即売会などもします。

11月19日(土)午前9時30分～午後3時。保健センター。
問 健康課 ☎ 55-2111

くすの木体操の講習会

音楽に合わせて、楽しく体力づくりをしませんか。

12月2日(金)午後1時30分～3時。金田公民館(入野108-1)。飲み物・タオル・バスタオル・室内用運動靴。
問 健康課 ☎ 55-2111

健康推進員と一緒に歩こう

遠藤原の里山から銭洗い弁天がある妙円寺(土屋194-9)を巡ります。

12月13日(火)午前9時～午後0時30分。約5・8km。当日午前7時ごろの横浜の降水確率が50%以上の場合は14日(水)に延期。14日も50%以上

の場合は中止。神奈川県立南ひらつかキャンパス(土屋2946)正門前に集合・解散。飲み物・タオル・帽子・雨具・お持ちの方は歩数計。

問 健康課 ☎ 55-2111

地域支援事業の委託先を募集します

事業名と委託内容は市ウェブなどで、ご確認ください。

次の条件を全て満たす事業所・団体(選考)①介護予防事業を実施できる②11月21日(月)に本館5階519会議室で開く説明会に参加できる。

市ウェブなどにある応募書を、郵送または直接、11月16日(水)までに、本館1階の高齢福祉課 ☎ 21-9621へ。

訪問型の家族介護教室

介護のことで困っていることはありませんか。専門のスタッフが自宅を訪問し、ベッドから車いすへの移動方法など、介護の悩みを聞きます。市内在住の高齢者を介護し

ている家族。訪問日程は相談で決めます。1回1時間程度。
電話で、高齢福祉課 ☎ 21-9621へ。

生活のしづらさなどを調査します

障がい福祉施策の推進に必要な基礎資料とするため、障がいのある方を対象に、生活のしづらさなどに関する調査(全国在宅障がい児・者等実態調査)を12月中に実施します。無作為に抽出した調査地区内の世帯を調査員が訪問します。

問 障がい福祉課 ☎ 21-8774

ひとり親家庭などに医療費を助成

ひとり親家庭、または両親のいない子やその子を養育している方の医療費の自己負担額を助成します。該当する方は、本館1階のこども家庭課に申請してください。ただし、所得制限があります。すでにこの助成を受けている方は、現況届を提出してく



市内の商店が一押し商品を販売します。買物券が当たる抽選会やスタンプラリーなどもあります。11月6日(日)午前11時～午後4時。荒天の場合は13日(日)に延期。平塚駅北口中心商店街(明石町・紅谷町)。
問 商業観光課 ☎ 35-8107

元氣いきいき運動教室

12月9日(金)午後1時30分～3時。花水公民館(桃浜町34-34)。飲み物・タオル・バスタオル・室内用運動靴。
問 健康課 ☎ 55-2111

障がい者の日キャンペーン

障がい者に対する関心や理解を深めるために、手話コーラスや民謡踊りをします。

11月13日(日)午後1時～3時。OSC湘南シティ(代官町33-1)。
問 障がい福祉課 ☎ 21-8774

サロン「ハッピーひだまり」で情報交換

「ハッピーひだまり」は、目が不自由な方の自立と情報交換・提供の場です。

目が不自由な方の現状と支援状況の紹介や情報交換などをし、相談員らがアドバイスします。午後は歌やゲームを楽しみます。車いすの方でも

本格的な施設です。これらの施設は年間で約10万5,000人の利用があります。利用方法は4人以上の団体登録をして施設を予約するか、あらかじめ定められた個人利用の日を利用するか2通りです。なお、弓道場の個人利用の場合、2段以下の方の利用時は、3段以上の指導者の付き添いが必要です。

総合公園管理事務所 ☎ 35-2233

集まろう！
総合公園

総合体育館武道場・弓道場

第1体育室の真下の地下1階にある武道場は、二つあります。広さはそれぞれ33m×17mの大きさで、第1武道場は畳が敷かれ第2武道場は板張りです。

武道場という名がついてますが、武道に限らずヨガ、ストレッチ体操やダンスなどさまざまな団体が利用しています。また、弓道場は6～8人が同時に利用できる広さがあり、的まで28mある

所関係者を除く、市内在住・在勤の方。

12月4日(日)午後1時30分～3時。サンレジデンス湘南(田村2-11-5)。30人(先着順・9人以下の場合は中止)。室内履き。

電話で、11月7日(月)午前9時から、サンレジデンス湘南 ☎ 54-7007へ。

市高齢者福祉計画策定のためのアンケート

市民の皆さんの考えや意識を反映させるため、アンケート調査をします。

内容は、生活や体の状況、介護保険制度に関する意向などです。住民基本台帳に記載されている65歳以上の方から無作為に抽出した約4,800人に、11月上旬から調査票、

2020年東京五輪リトアニア選手団

平塚が事前
キャンプ地に **決定**

リトアニアオリンピック委員会が、平塚市を中心とした県内での事前キャンプを実施する方針を決定しました。

同委員会財務担当局長のヴィタリウス・ヴァシリウスカス氏(写真中)らが来日し、10月28日に市内のホテルで県・市との三者で協定を締結しました。

リトアニアはバルト三国の一つで、人口約291万人。総合公園内の競技場や体育館などの施設を利用する予定です。

問 企画政策課 ☎ 21-8797

みんなの力

まちに彩りを

平塚市出身
ペインター
オノ ルイーゼさん

水色やピンク、オレンジなど色鮮やかな
フォトスポットが湘南平の展望台などに完成
しました。「植物の成長」がテーマの作品で、
「平塚のバラをイメージしました」と作者のオ
ノさんは話します。作品の前で写真を撮れば、
見慣れた景色が普段とは違う印象に。作品は
8月の湘南ベルマーレひらつかビーチパーク
by shonanzoenに続き、市内2カ所目です。
レストランやオフィスなどの壁画を手掛け
るオノさんは今年7月から1年間、オーストラ
リアを拠点に活動しています。「美術館に絵を
見に行くだけがアートじゃない」と言うオノ
さん。「気軽にアートに触れられる場所になっ
てくれたらいいな」とフォトスポットに期待
を寄せます。



楽しい自転車教室ウィー
リースクール

12月10日(土)。平塚競輪場
(久領堤5-1)。先着順。自
転車・ヘルメット・手袋・飲
み物。動きやすい靴でお越
しください。事前予約で自転車
やヘルメットのレンタルもあ
ります。
はじめての自転車乗り方教室
(下写真) 午前10時〜正午。
補助輪なしで自転車に乗れな
い市内在住の子ども40人。
みるみるうまくなる自転車教
室 午後2時〜3時30分。補
助輪なしで自転車に乗れる小



スポーツ

応募方法は
4面

元気応援ポイント説明会

11月25日(金)午後1時30分
〜3時。旭南公民館(山下1
096-1)。市内在住・在
勤の65歳以上の方と家族、30
人(先着順)。筆記用具・飲み
物を。動きやすい服装でお越
しください。
電話で、高齢者よろず相
談センターあさひみなみ ☎31
4932へ。
市内の介護保険施設など
で、高齢者の話し相手や趣味
を生かす活動をするポイント
トがたまります。たまったポ
イントは、市の名産品や農水
産物を使った加工品の詰め合
わせセットのほか、交付金に
交換できます。
11月22日(火)午後2時〜3
時30分。南部福祉会館(袖ヶ
浜20-1)。市内在住の65歳
以上の方。
福祉会館 ☎33-3100

学生以下の方50人。
電話で、平日の午前10時
〜午後5時に、ルーツスポー
ツ・ジャパン事務局 ☎03-3
354-2300へ。同事務
局ウェブからも応募できます。

囲碁ボール交流教室

年齢・性別・経験の有無は
問いません。
12月11日(日)午前9時30分
〜午後1時。トッケイセキユ
リテイ平塚総合体育館。市内
在住・在勤・在学の方3人1
組のチーム20組(抽選)。1組
300円。
教室名・代表者の必要事
項を、はがきで、11月18日(金)

スポーツ教室

健康増進とスポーツの推進
のため、教室を開いています。
会場は①〜⑤がトッケイセ
キユリテイ平塚総合体育館⑥
⑦がひらつかサン・ライファ
リーナ。抽選。
①火曜太極拳 12月6日〜平
成29年3月14日の火曜日、全
12回、午後1時20分〜2時50
分。70人。5650円。
②水曜太極拳 平成28年12月
7日〜平成29年3月15日の水
曜日、全12回、午前9時20分
〜10時50分。70人。5650円。
③パワイヨガ 平成28年12月
9日〜平成29年3月17日の金
曜日、全12回、午後7時35分
〜8時35分。80人。5140円。
④真向法体操 平成28年12月
までに、〒254-0074大原1-1
まちづくり財団スポーツ事業
課 ☎35-0102へ。

⑥バドミントン 平成28年12
月6日〜平成29年3月14日の
火曜日、全10回、午前9時30
分〜正午。60人。4620円。
⑦ノルディックウォーキング
平成28年12月22日〜平成29
年3月9日の木曜日、全6回、
午前11時〜午後0時30分。30
人。2310円。
教室名・必要事項・年齢
を、はがき(1人1枚)で、平
成28年11月15日(火)までに、
〒254-0074大原1-1まちづく
り財団スポーツ事業課 ☎35-
0102へ。同財団ウェブか
らも応募できます。

ノルディックウォーキング教室

2本のポールを両手
に持ち、全身を使って
歩きます。前鳥神社・
相模川を散策するコー
スです。
12月1日(木)午前9
時30分〜正午。当日午
前7時ごろの横浜の降
水確率が50%以上の場
合は中止。ひらつかサ
ン・ライファリーナに
集合・解散。6歳程度
歩ける経験者20人(抽選)。飲み物。動きやすい服装・
靴でお越しください。
教室名・必要事項・年齢を、はがき(1人1枚)
で、11月15日(火)までに、〒254-0074大原1-1まち
づくり財団スポーツ事業課 ☎35-0102へ。同財
団ウェブからも応募できます。



すがすがしい陽気の中で運動をしませんか

市民相談

市民相談室
市民情報・相談課 ☎21-8764
一般市民 月〜金曜日、
午前8時30分〜正午・午後
1時〜5時
一般法律(予約制) 水・
木曜日、午後1時〜4時
行政 11月7日(月)、午
後1時〜4時
税務(予約制) 11月25日
(金)午後1時〜4時
登記・供託(予約制) 11
月11日(金)午後1時〜4時
多重債務(予約制) 11月
8日(火)午後1時〜4時
年金・社会保険・労災(予
約制) 11月8日(火)午後
1時〜4時
不動産(予約制) 11月18
日(金)、12月2日(金)、午
後1時〜4時
分譲マンション管理(予
約制) 11月28日(月)午

後1時〜4時
住宅(新・改築) 11月15
日(火)午後1時〜4時
外国籍 スペイン語：火
曜日／ポルトガル語：水
曜日／午前9時〜正午・
午後1時〜4時
こどもの総合相談
子ども家庭課 ☎21-9843
子ども総合相談 月〜金
曜日、午前8時30分〜午
後5時
母子・父子相談 月〜金
曜日、午前10時15分〜午
後5時
保健福祉総合相談
福祉総務課 ☎21-8779
来所・電話 月〜金曜日、
午前8時30分〜午後5時
障がいがある方の相談
障がい福祉課 ☎21-8774
手話案内 ☎21-1213
月〜金曜日、午前9時〜
午後3時45分
精神保健福祉相談(予約

制) 月〜金曜日、午前8
時30分〜午後5時
くらしサポート相談
くらしサポート相談 ☎21-8813
来所・電話 月〜金曜日、
午前8時30分〜午後5時
ヘルスアップ相談
保健センター ☎55-2111
来所(予約制) 11月11日
(金)・30日(水)、午後1
時〜3時
成年後見利用支援センター
栗原ホーム ☎35-6175
来所・電話 月〜金曜日、
午前9時〜正午・午後1時
〜5時
65歳からの健康相談
高齢福祉課 ☎21-9621
来所(予約制) 月〜金曜
日、午前9時30分〜正午・
午後1時30分〜5時
人権相談
人権・男女共同参画課
☎21-9861
来所 11月15日(火)、午

後1時〜3時
消費生活センター
JAビルかながわ ☎21-7530
来所・電話 月〜金曜日、
午前9時30分〜午後4時
子育て支援センター
豊田分庁舎 ☎34-9076
未就学児対象の子育て相
談・情報提供 月〜金曜日、
午前9時30分〜午後4時
ビジネス相談
産業振興課 ☎21-9758
発明・考案・特許(予約制)
11月21日(月)午後1時〜4時
就労支援(予約制・先着4
人・1人50分) 11月9日
(水)・24日(木)、午後1
時〜4時50分
青少年相談室
市民センター ☎34-7311
青少年相談 月〜土曜日、
午前10時〜午後6時30分
ヤングテレホン相談(青
少年専用) ☎33-7830
月〜土曜日、午前10時〜

午後6時30分
ヤングメール相談(青少
年専用) ☎y-soudan@
子ども教育相談センター
崇善小学校北側 ☎36-6013
来所(予約制) 月〜金曜
日、午前10時〜午後5時
電話 月〜金曜日、午前
9時〜午後5時
社会福祉協議会
福祉会館 ☎33-3100
法律(予約制・先着6人)
11月8日(火)・12月13日(火)、
午後1時〜4時
子ども発達支援室くれよん
福祉事業センター
☎32-2738 ☎31-1114
こどもの発達相談(来所・
予約制) 月〜金曜日、午
前8時30分〜午後5時
女性のための相談
人権・男女共同参画課
☎21-9611(相談専用)
来所・電話 月〜金曜日、
午前9時30分〜午後4時



中央図書館

〒254-0041 浅間町12-41
☎31-0415 FAX31-9984
※7/14 21 28 30日

西図書館の臨時休館

30日(水)～12月8日(木)は施設修繕などのため休館します。

中央図書館 映画会

日、午後2時。3階ホール。
11月6日「子ども映画会」冒険者たち ガンバと七匹(アニメ)。13日「子ども映画会」狼森とざる森・ぬすと森(アニメ)・鉢かづき姫(アニメ)。

20日「一般映画会」人生、ここにあり！(実写)。27日「子ども映画会」ピノキオ(アニメ)。

■初めてのペープサート 厚紙と棒で作る紙人形劇の基礎を学びます。12月9日(金)午後2時。3階ホール。

■ブックスタート 市内在住の1歳未満の子どもと保護者。午前10時～11時30分。

①11月9日(水)北図書館(田村3-12-5)②20日(日)中央図書館③12月4日(日)中

アート・イラスト in 湘南 III

11月27日(日)まで。一般400円、高校生・大学生200円。アート・イラストトーク 企画展に作品を展示している作家が話します。

午後2時～3時。展示室。要観覧券。11月12日(土) 斉藤典彦さん 20日(日) 内田あぐりさん

学芸員によるギャラリートーク 19日(土)午後2時～2時40分。展示室。要観覧券。

☎ 美術館 ☎35-2111



(左) 斉藤典彦《かのみず》2001年 市美術館蔵 (右) 内田あぐり《生の空間》1985年 市美術館寄託

前10時～正午。中央図書館。市内在住の方30人(抽選・子どもは同伴できません)。

■講座名・必要事項を、往復はがきで、11月18日(金)までに、中央図書館へ。

中央図書館の特集展示

11月29日(火)まで。

①宮沢賢治特集

1階ホール・貸出室・こども室。4日(金)午後2時から3階ホールで、映画「銀河鉄道の夜(アニメ)」を上映します②いざ、読書 古典文学や長編小説などを展示します。貸出室。

■ブックスタート 市内在住の1歳未満の子どもと保護者。午前10時～11時30分。

①11月9日(水)北図書館(田村3-12-5)②20日(日)中央図書館③12月4日(日)中

中央図書館④14日(水)南図書館(袖ヶ浜20-1)。

電話または図書館ウェブで、中央図書館へ。

美術館

〒254-0073 西八幡1-3-3
☎35-2111 FAX35-2741
※7/14 21 28日

香月泰男と丸木位里・俊

そして川田喜久治 シベリアシリーズ・原爆の図・地図

11月20日(日)まで。一般900円、高校生・大学生500円。

学芸員によるギャラリートーク 11月5日(土)午後2時～3時。展示室。要観覧券。

■市民アートギャラリー 11月1日(火)～6日(日)平塚美術家協会小作品展。5日(土)・6日親と子による写生会展覧会。9日(水)～13日(日)市幼

少図工作品展。16日(水)～20日(日)県中ブロック中学校美術展。22日(火)～27日(日)爽実展。23日(祝)～27日あいま ECOアート我楽多展。30日(水)～12月4日(日)ステンド

グラス作品展・光のいざない。

博物館

〒254-0041 浅間町12-41
☎33-5111 FAX31-3949
※7/14 21 28日

秋期特別展 知られざる平塚のロケット開発

12月18日(日)まで。特別展示室。

関連事業など詳しくは、広



報ひらつか10月第3金曜日号をご覧ください。

賢治が魅せられた石たち

11月3日(祝)～29日(火)。寄贈品コーナー。

■古文書から読み解く素野の歴史 12月16日(金)まで。情報コーナー。

■フラネタリウムの投影 70人(当日先着順)。200円。18歳未満の方と65歳以上の方は無料です。

☆不思議な星と悪魔の星 11月27日までの土・日曜日、午前11時と午後2時。11月12日・26日の土曜日午前11時は、幼児向け投影「ほしみる おじさん」を上映します。

☆星空と音楽の夕べ 11月19日(土)午後4時。

■ひらつか星空調査隊 星の見え方を調べます。小学生以上の方、小学生は保護者同伴で。講習 12月25日(日)・28日(水)、平成29年1月4日(水)・7日(土)・15日(日)のうち1日。プラネタリウム。

■観察期間 1月17日(火)～31日(火)。自宅周辺。

必要事項・講習希望日を、

春風亭昇太さん(写真左)、三遊亭円楽さん(写真中)、柳家喬太郎さん(写真右)が出演します。平成29年2月19日(日)午後1時と4時開演。中央公民館。全席指定3,500円。未就学児は入場できません。チケットは、平成28年11月13日(日)午前10時から市民センターなどで販売します。電話予約は15日(火)午前8時30分から文化事業課へ。

☎ まちづくり財団文化事業課 ☎32-2237

まちづくり財団

〒254-0045 見附町15-1 (市民センター内の文化事業課)
☎32-2237 FAX32-2240

市役所ミニコンサート

弦 楽五重奏 バイオリンやチェロなどの美しい音色をお楽しみください。11月9日(水)午後0時15分～0時50分。本館1階多目的スペース。

博物館モノ語り

学芸担当 ☎33-5111

ペンシルロケット

写真は、東京大学の糸川英夫教授が昭和30年に初めて製作した、ペンシルロケットの断面模型です。ジュラルミン製で全長わずか23センチ、重さ200グラムの小さなロケットです。飛ぶために必要な推進薬も重さ8・4グラムと、とても小さいものでした。この推進薬の開発には、大正8年から昭和20年まで平塚にあった、海軍火薬廠で培われた技術が利用されています。

小さいながらも、ロケットの基本要素が備わったペンシルロケットは、生産や燃焼実験、飛行実験など、ロケット工学のあらゆる分野の問題点を学ぶ材料となりました。何度も実験を繰り返して、現在まで受け継がれる、技術のイロハが導き出されました。戦後の日本のロケット開発は、このペンシルロケットから始まったのです。

ロケットはお尻からガスを噴射し、その反動で飛びます。燃料と一緒に酸素も含んだ火薬を積んで

写真の右側を見てください。飛ぶために必要な推進薬も重さ8・4グラムと、とても小さいものでした。この推進薬の開発には、大正8年から昭和20年まで平塚にあった、海軍火薬廠で培われた技術が利用されています。

小さいながらも、ロケットの基本要素が備わったペンシルロケットは、生産や燃焼実験、飛行実験など、ロケット工学のあらゆる分野の問題点を学ぶ材料となりました。何度も実験を繰り返して、現在まで受け継がれる、技術のイロハが導き出されました。戦後の日本のロケット開発は、このペンシルロケットから始まったのです。

ロケットはお尻からガスを噴射し、その反動で飛びます。燃料と一緒に酸素も含んだ火薬を積んで

写真の右側を見てください。飛ぶために必要な推進薬も重さ8・4グラムと、とても小さいものでした。この推進薬の開発には、大正8年から昭和20年まで平塚にあった、海軍火薬廠で培われた技術が利用されています。

小さいながらも、ロケットの基本要素が備わったペンシルロケットは、生産や燃焼実験、飛行実験など、ロケット工学のあらゆる分野の問題点を学ぶ材料となりました。何度も実験を繰り返して、現在まで受け継がれる、技術のイロハが導き出されました。戦後の日本のロケット開発は、このペンシルロケットから始まったのです。

ロケットはお尻からガスを噴射し、その反動で飛びます。燃料と一緒に酸素も含んだ火薬を積んで

写真の右側を見てください。飛ぶために必要な推進薬も重さ8・4グラムと、とても小さいものでした。この推進薬の開発には、大正8年から昭和20年まで平塚にあった、海軍火薬廠で培われた技術が利用されています。

小さいながらも、ロケットの基本要素が備わったペンシルロケットは、生産や燃焼実験、飛行実験など、ロケット工学のあらゆる分野の問題点を学ぶ材料となりました。何度も実験を繰り返して、現在まで受け継がれる、技術のイロハが導き出されました。戦後の日本のロケット開発は、このペンシルロケットから始まったのです。

ロケットはお尻からガスを噴射し、その反動で飛びます。燃料と一緒に酸素も含んだ火薬を積んで